

2016
年版

名医

国民のための

ランキング



名医を様々な観点から分析し、
ランク付けした“日本初”の試み

患者からは直接聞きにくい「手術の成功率」、「術後生存率」も
直接医師に尋ねました！

名医からの本音アドバイスも掲載！

これまでにない患者目線のガイドブック

内視鏡治療

日本での消化器内視鏡の発展は、1950年代に胃カメラが開発され、ファイバースコープの開発、消化管粘膜生検の実用化へと、飛躍的な進歩をとげています。

現在では食道、胃、十二指腸、大腸、胆道、膵管などの広範な消化器分野の内視鏡診断が可能となりました。治療面では、消化管の出血に対する止血、早期食道・胃・大腸癌などに対する粘膜切除、狭窄の解除、結石除去など多方面に使われています。

以前は、開腹手術していた消化管（胃・食道・大腸など）の早期癌の多くが、内視鏡で治療することができるようになりました。

特に、大腸では、3個以内の大腸ポリープや2cm以下の早期の大腸癌であれば、外来で大腸内視鏡検査時に切除を行なうことができ、検査と共に治療も完了します。早期癌ではほぼ100%の治癒率といわれています。



藤井 隆広 ふじい たかひろ

藤井隆広クリニック

(電話) 03-3544-6266 東京都中央区銀座 4-13-11 7F

胃癌、食道癌、大腸癌の内視鏡検診

● 消化器病専門医

高度な設備を備え早期発見に努める癌検診のスペシャリスト

得意分野

食道癌・胃癌に対する内視鏡検診。大腸癌に対する内視鏡検診と内視鏡治療。

診療ポリシー

以下の4つをポリシーとしています。

- ・ 患者様への負担の少ない安心で安全な医療を提供すること。
- ・ 拡大内視鏡を使用し、確実な診断と治療。
- ・ 患者様に納得いくまで時間をかけた説明。
- ・ 内視鏡治療は全て日帰り手術を行ない、術後の24時間サポート体制実施。

当院は、患者様の負担軽減のために、入院することなく1回の内視鏡検査で、大腸ポリープを診断、治療、内視鏡手術まで、全て完了します。検査は高度な技術で行なわれ、苦痛は全くありません。胃内視鏡と大腸内視鏡の同日検査も一日で終了します。血液検査による腫瘍マーカー、超音波検査、ピロリ菌検査の様々な検診も内視鏡検査と同じ日に受けられます。世界トップクラスの内視鏡検査設備を整え、内視鏡機器は、NBIシステムを搭載した光源装置、ハイビジョン式拡大内視鏡とハイビジョンモニターを使用して、鮮明な画像から早期癌の発見・診断に努めています。

年間総治療数	:-	過去12年間総治療数(2003年~2014年):
高難度手術実績	:-	上部内視鏡件数: 9,506人
術式	:-	癌発見数 食道癌: 16件
生存退院率	:-	早期胃癌: 79件
重篤な合併症数	:-	進行胃癌: 23例
術死件数	:-	大腸内視鏡件数: 11,633人
再手術数	:-	早期大腸癌: 434例
		進行大腸癌: 84例
業績等	【海外講演】米国消化器病週間 (DDW 2015) ワシントンDCにて発表。Trans-Upper GI Endoscope PEG Infusion for Bowel Preparation prior to Colonoscopy: A Comparative Study of Isotonic versus Hypertonic PEG. / 2015年第14回国際消化器内視鏡セミナーにて「大腸拡大NBI分類 (JNET分類)」の司会と大腸内視鏡技術指導【論文】観察法: 大腸内視鏡による screening 一息のべからず10項目。消化器内視鏡 vol.27 No.2, 2015 / 超高齢者大腸内視鏡検査の工夫, INTESTINE Vol.19 No.1, 2015 / 大腸 LST の歴史的背景、胃と腸 Vol.49 No.12, 2014. / ほか多数	